

筑後市
食育に関するアンケート
調査結果報告書

平成 29 年 10 月
筑後市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計及び回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
II. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢（世帯構成別）	2
(3) 居住地区	2
(4) 世帯構成	3
III. 調査結果	4
1. 食育について	4
(1) 「食育」についての関心	4
(2) 「食育」に関心がある理由	6
(3) 「食育」に関心がない理由	7
(4) 「食生活・食習慣の改善」の実施	8
(5) 「地元の農産物」の利用	10
(6) 農作業の経験	12
(7) 食に関する学習経験	13
2. 日頃の食生活について	14
(1) 野菜のおかずを食べる頻度	14
(2) 「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を食べる頻度	15
(3) 3食を食べる頻度	16
(4) 3食を食べない理由	17
(5) 家族そろった食事の心がけ	18
(6) 家族そろった食事	20
(7) 食事の際のあいさつ	21
(8) 子供に基本的な食事のマナーを教えているか	22
(9) 子供に教えている食事のマナー	23
3. 食の安全性について	24
(1) 食品購入時の表示確認	24

4. 地産地消について -----	25
(1) 「地産地消」 についての関心 -----	25
(2) 「地産地消」 についての関心の内容 -----	26
(3) 農畜産物の生産地について優先するもの -----	27
(4) 農畜産物を購入する場所が多いところ -----	28
(5) 「地産地消」 を推進する上で必要だと思うこと -----	29
5. 食育情報について -----	30
(1) 「食育」 を実践する上で必要な情報 -----	30
IV. 調査票 -----	31

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 30 年 3 月に策定する「第 3 次ちっごの生命をつなぐ食育推進計画」（平成 30 年度からの 5 か年計画）の基礎資料とするとともに、第 2 次計画の進捗状況と数値目標の達成状況を確認するため実施した。

2. 調査設計及び回収結果

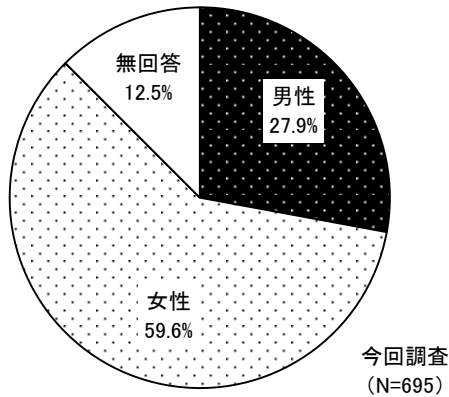
調査対象	市内在住の 20 歳以上の男女 2,000 人
調査方法	郵送調査（郵送配布・郵送回収）
有効回収数（率）	695 票（34.8%）
調査主体	筑後市 健康づくり課
調査期間	平成 29 年 9 月 1 日～9 月 18 日

3. 調査結果の見方

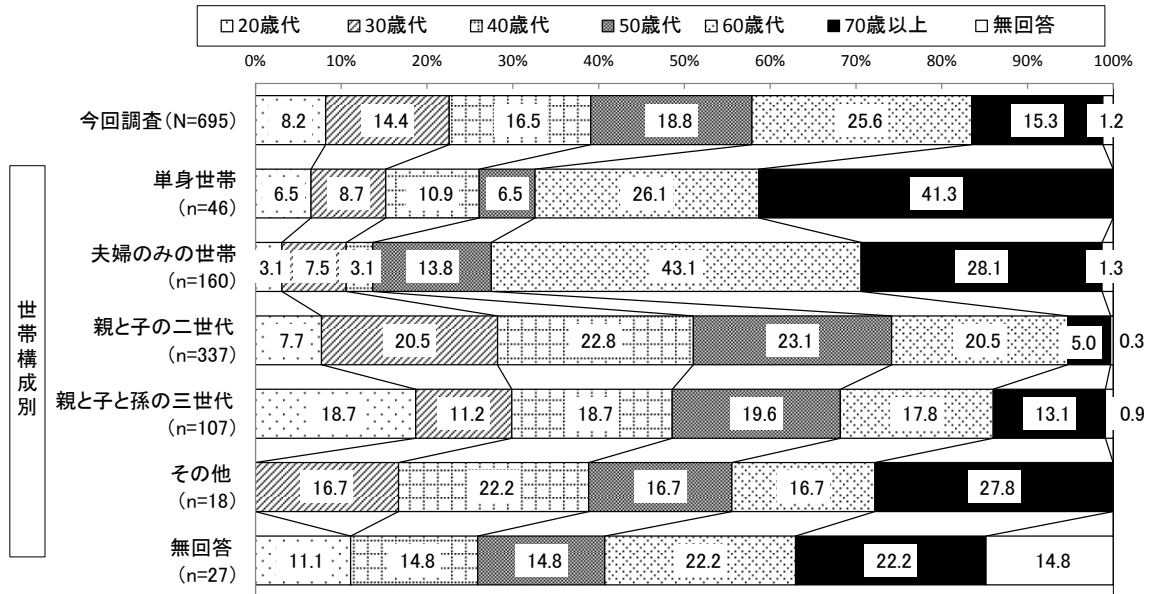
- （1）回答は、原則として各質問の調査数を基数とした百分率で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、割合の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- （2）調査結果グラフの中に示す N、n の値は比率算出上の基数である。N は回答者全体の件数、n は回答者を限定した件数を表す。
- （3）コンピュータ入力の都合上、図表中の回答選択肢等を短縮して表記している場合がある。

Ⅱ. 回答者の属性

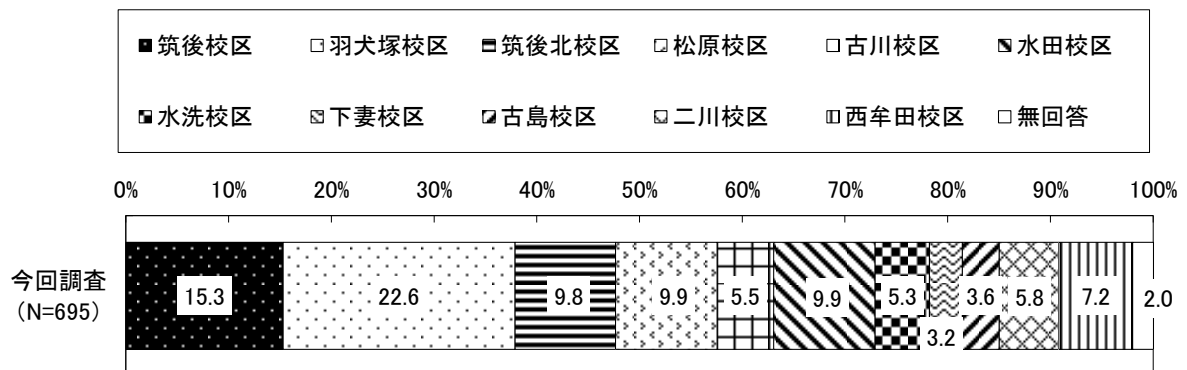
(1) 性別



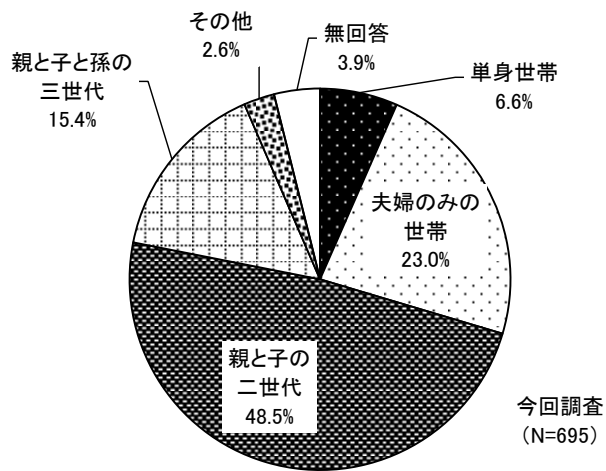
(2) 年齢 (世帯構成別)



(3) 居住地区



(4) 世帯構成



Ⅲ. 調査結果

1. 食育について

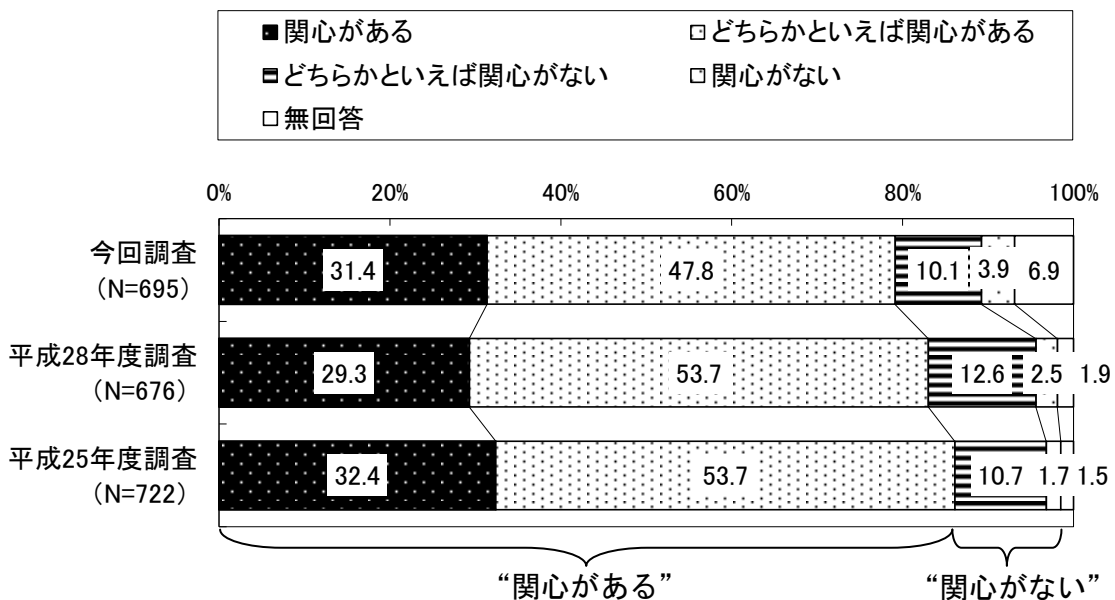
(1) 「食育」についての関心

Q 1 あなたは「食育」について関心がありますか。この中から1つお選びください。

「食育」についての関心度をみると、「関心がある」が31.4%、「どちらかといえば関心がある」が47.8%でこれらを合わせた“関心がある”は79.2%となっている。

過去の調査と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、“関心がある”の割合は減少傾向にある。(平成28年度調査：83.0%、平成25年度調査：86.1%)。

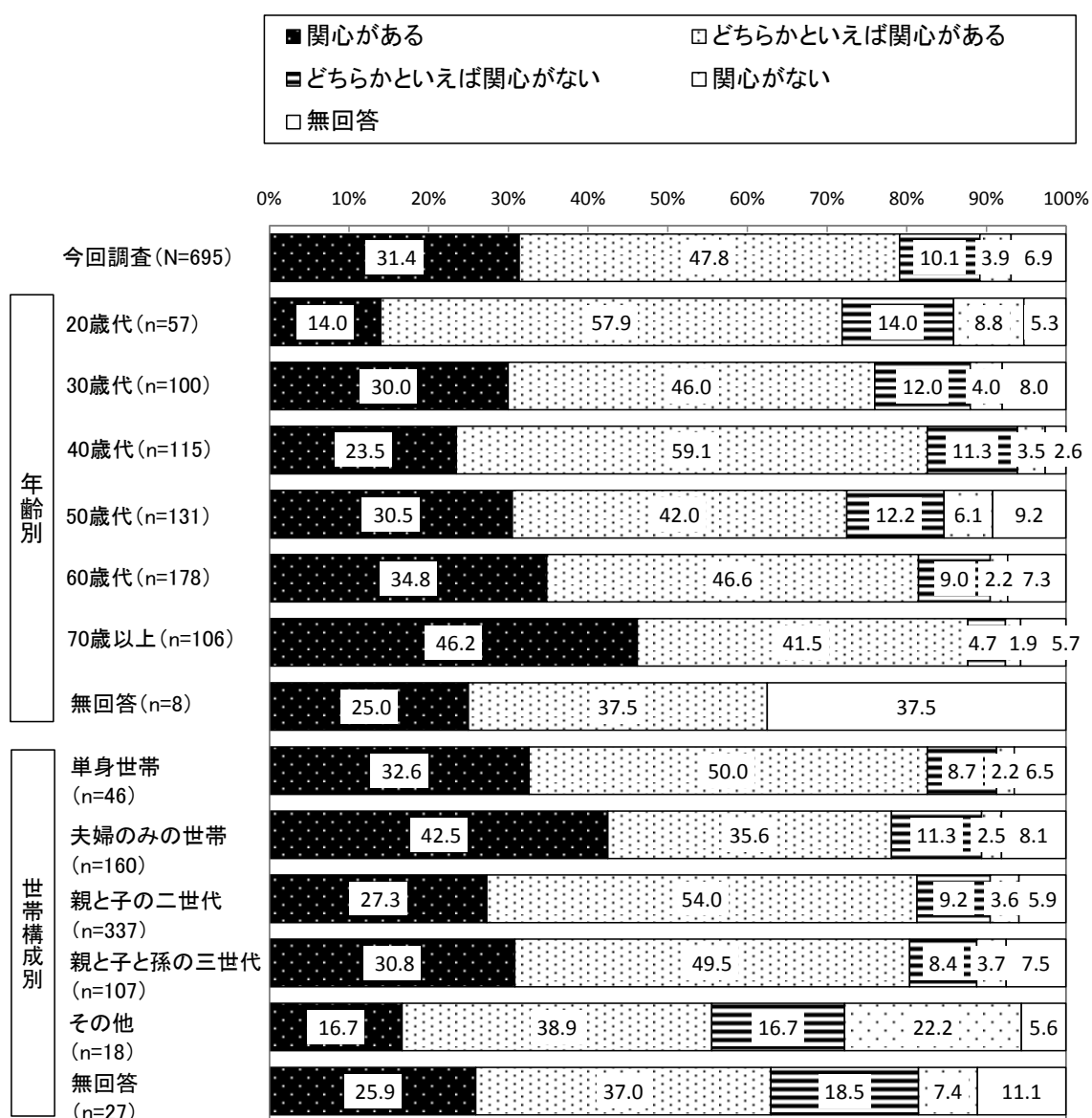
【図表1-1 「食育」についての関心（過去調査との比較）】



年齢別にみると、「関心がある」の割合は70歳以上で46.2%と特に高く、「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合は87.7%と他の年代に比べ最も高くなっている。

世帯構成別にみると、「関心がある」の割合は夫婦のみの世帯（42.5%）で最も高いが、「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合は単身世帯（82.6%）で最も高くなっている。

【図表1-2 「食育」についての関心（年齢別・世帯構成別）】



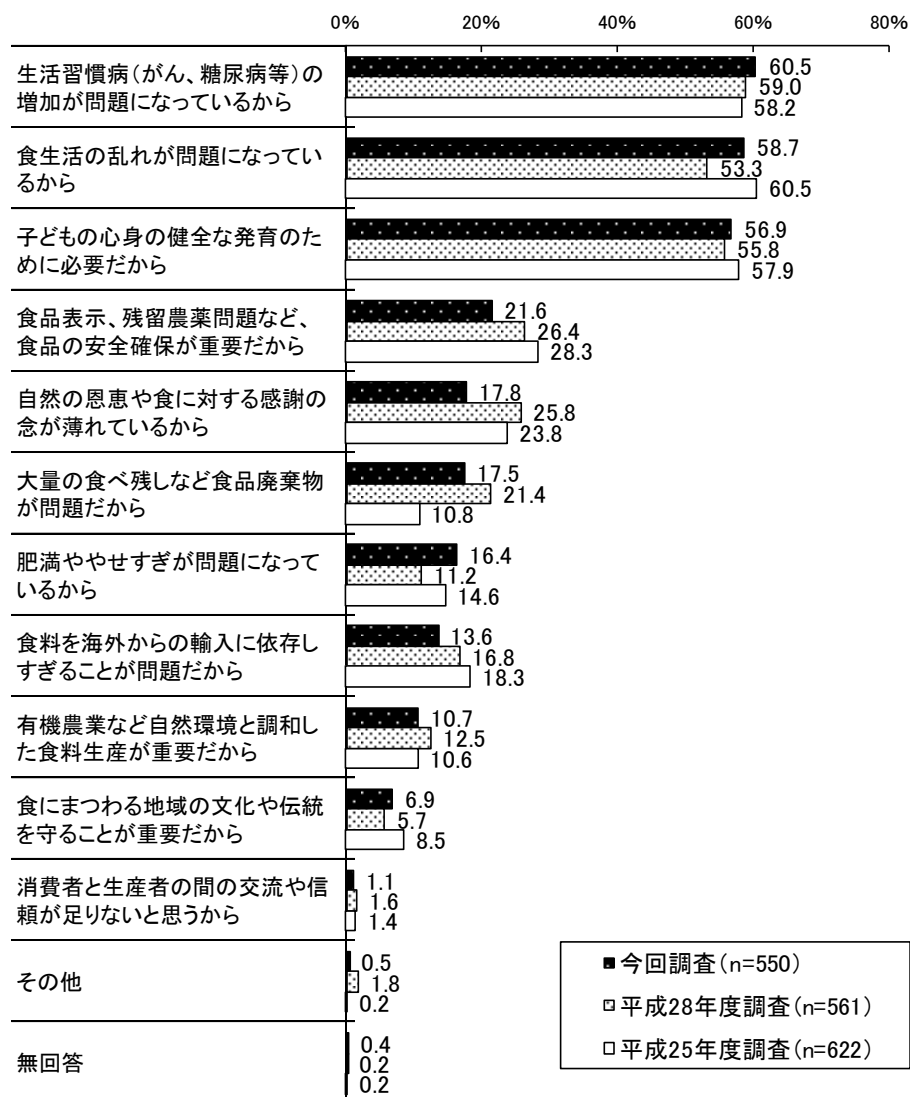
(2) 「食育」に関心がある理由

Q 1-1 あなたが「食育」に関心がある理由はなんですか。この中から3つまでお選びください。

「食育」に関心があると回答した人の理由をみると、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が60.5%で最も多く、次いで「食生活の乱れが問題になっているから」が58.7%、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が56.9%で続いている。

過去の調査と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「食品表示、残留農薬問題など、食品の安全確保が重要だから」、「食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから」の割合は減少傾向がみられる。

【図表 1-3 「食育」に関心がある理由（過去調査との比較）】



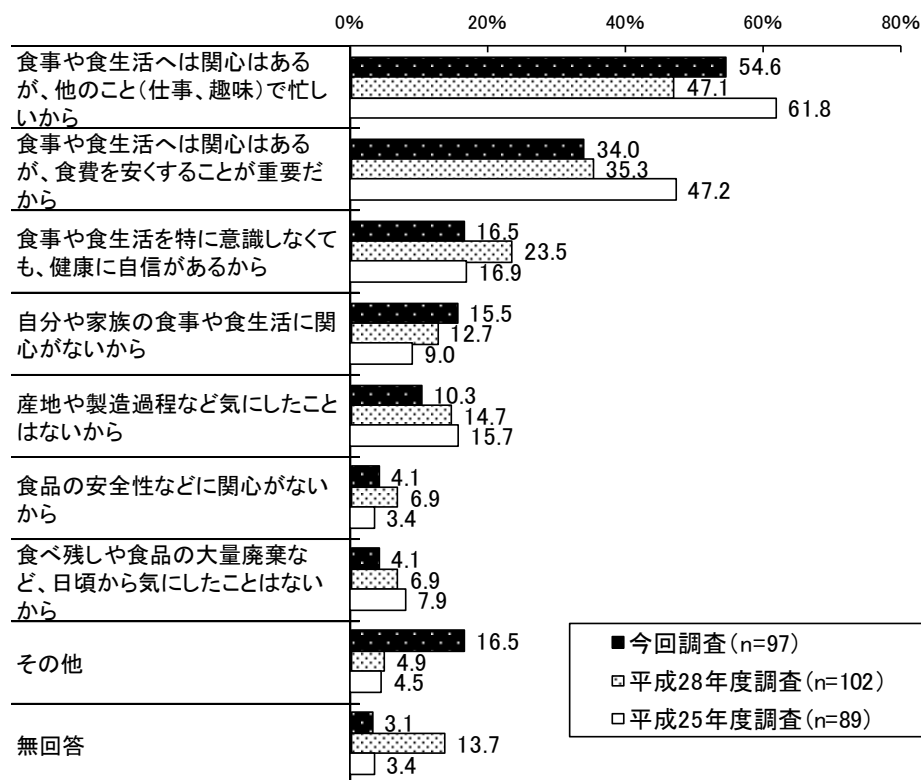
(3) 「食育」に関心がない理由

Q 1-2 あなたが「食育」に関心がない理由はなんですか。この中から3つまでお選びください。

「食育」に関心がないと回答した人の理由をみると、「食事や食生活へは関心はあるが、他のこと（仕事、趣味）で忙しいから」が54.6%で最も多く、次いで「食事や食生活へは関心はあるが、食費を安くすることが重要だから」が34.0%、「食事や食生活を特に意識しなくても、健康に自信があるから」が16.5%で続いている。

過去の調査と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「食事や食生活へは関心はあるが、食費を安くすることが重要だから」は減少傾向、「自分の家族の食事や食生活に関心がないから」は増加傾向がみられる。

【図表 1-4 「食育」に関心がない理由（過去調査との比較）】



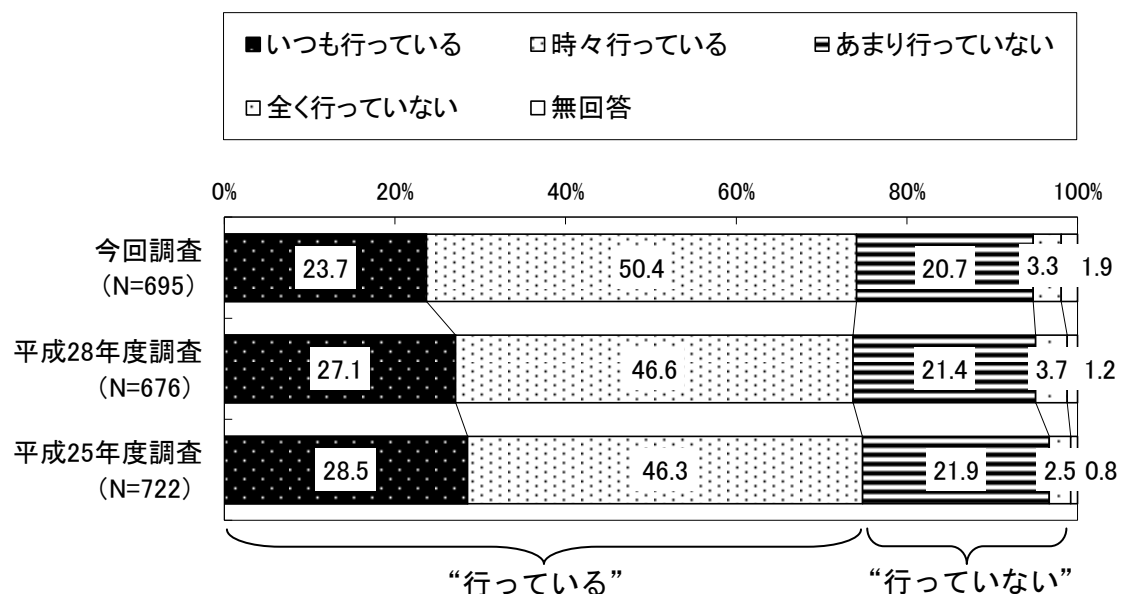
(4) 「食生活・食習慣の改善」の実施

Q2 あなたは日頃から健康の保持・増進を図るために「食生活・食習慣の改善」を行っていますか。この中から1つお選びください。

「食生活・食習慣の改善」の実施状況を見ると、「いつも行っている」が23.7%、「時々行っている」が50.4%でこれらを合わせた“行っている”は74.1%となっている。

過去の調査と比較すると、割合に大きな違いはみられず、概ね同様の傾向を示している。(平成28年度調査：73.7%、平成25年度調査：74.8%)。

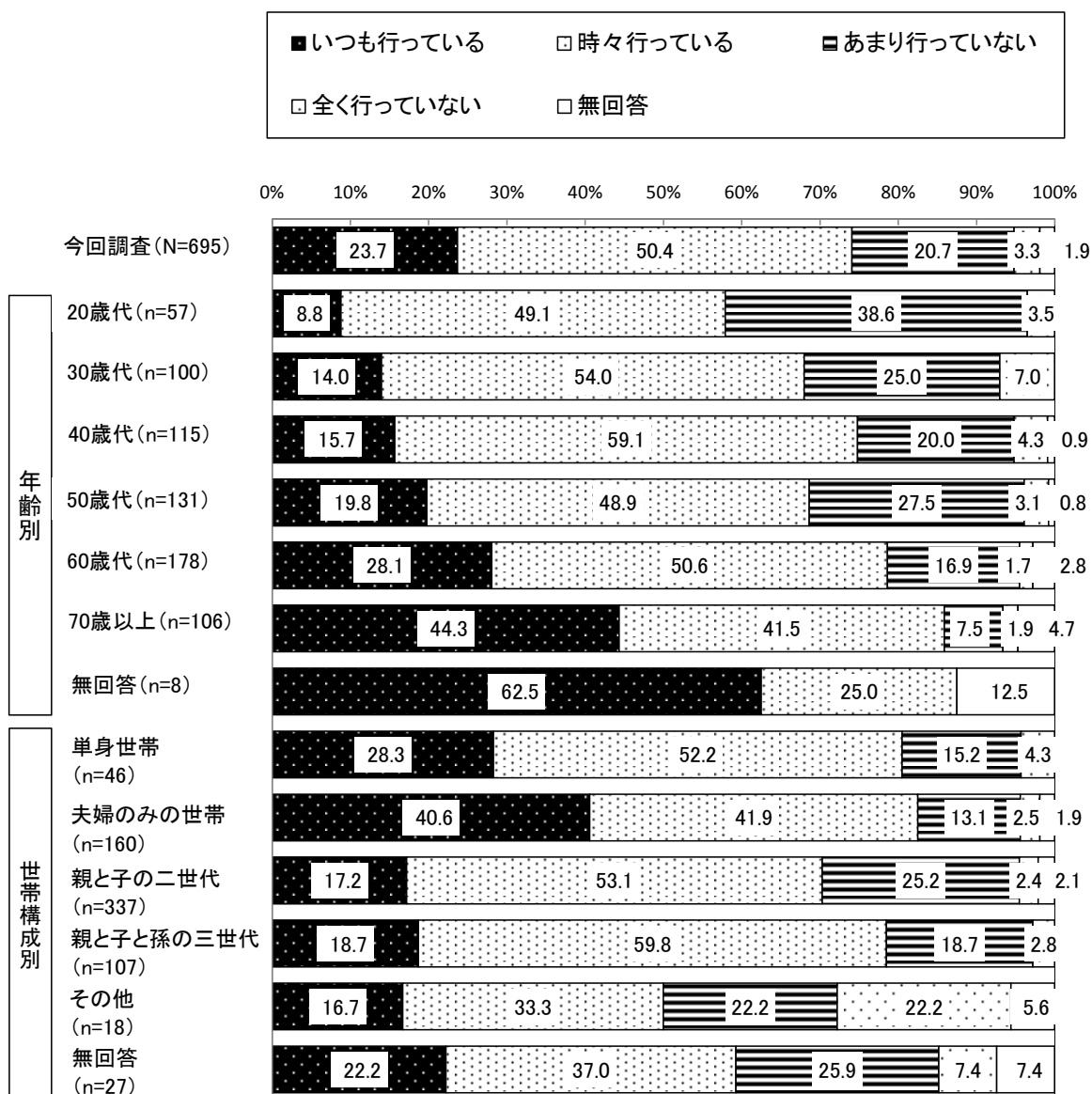
【図表1-5 「食生活・食習慣の改善」の実施（過去調査との比較）】



年齢別にみると、「いつも行っている」の割合は加齢とともに高まり、70歳以上で44.3%、「時々行っている」を合わせた“行っている”の割合は85.8%と他の年代に比べ最も高くなっている。一方、“行っている”の割合は20歳代（57.9%）で最も低くなっている。

世帯構成別にみると、“行っている”の割合は夫婦のみの世帯（82.5%）が最も高く、親と子の二世帯（70.3%）が最も低くなっている。

【図表1-6 「食生活・食習慣の改善」の実施（年齢別・世帯構成別）】



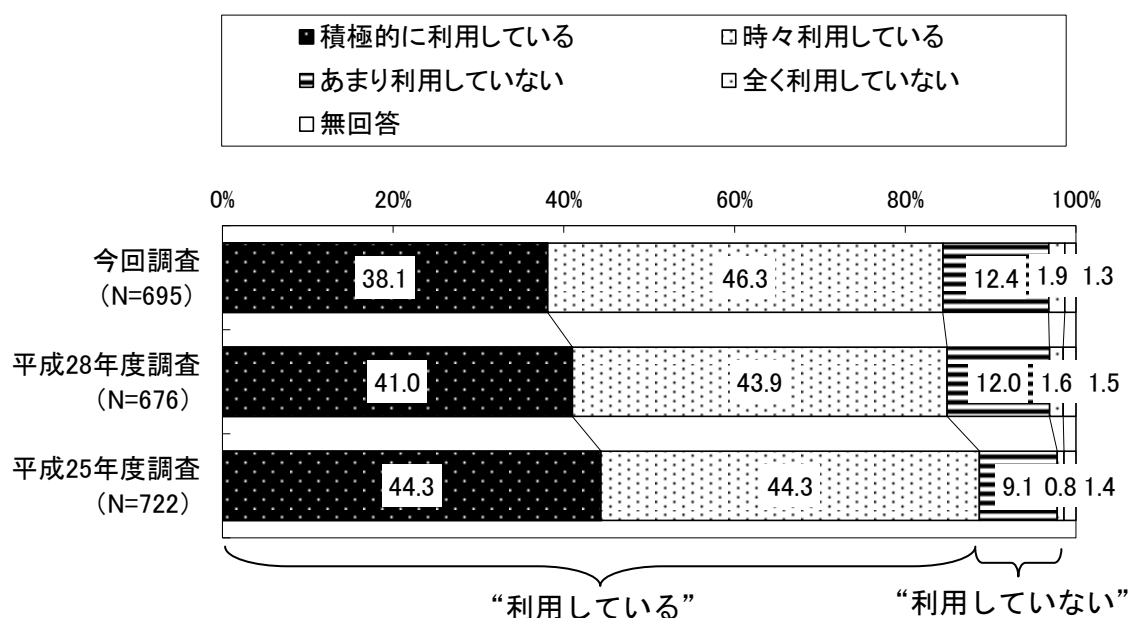
(5) 「地元の農産物」の利用

Q3 あなたは日頃から、「地元の農産物」を利用していますか。この中から1つおえらびください。

「地元の農産物」の利用状況をみると、「積極的に利用している」が38.1%、「時々利用している」が46.3%でこれらを合わせた“利用している”は84.4%となっている。

過去の調査と比較すると、平成28年度調査とほぼ同様の傾向を示しているが、平成25年度調査からみると“利用している”の割合に減少傾向がみられる（平成28年度調査：84.9%、平成25年度調査：88.6%）。

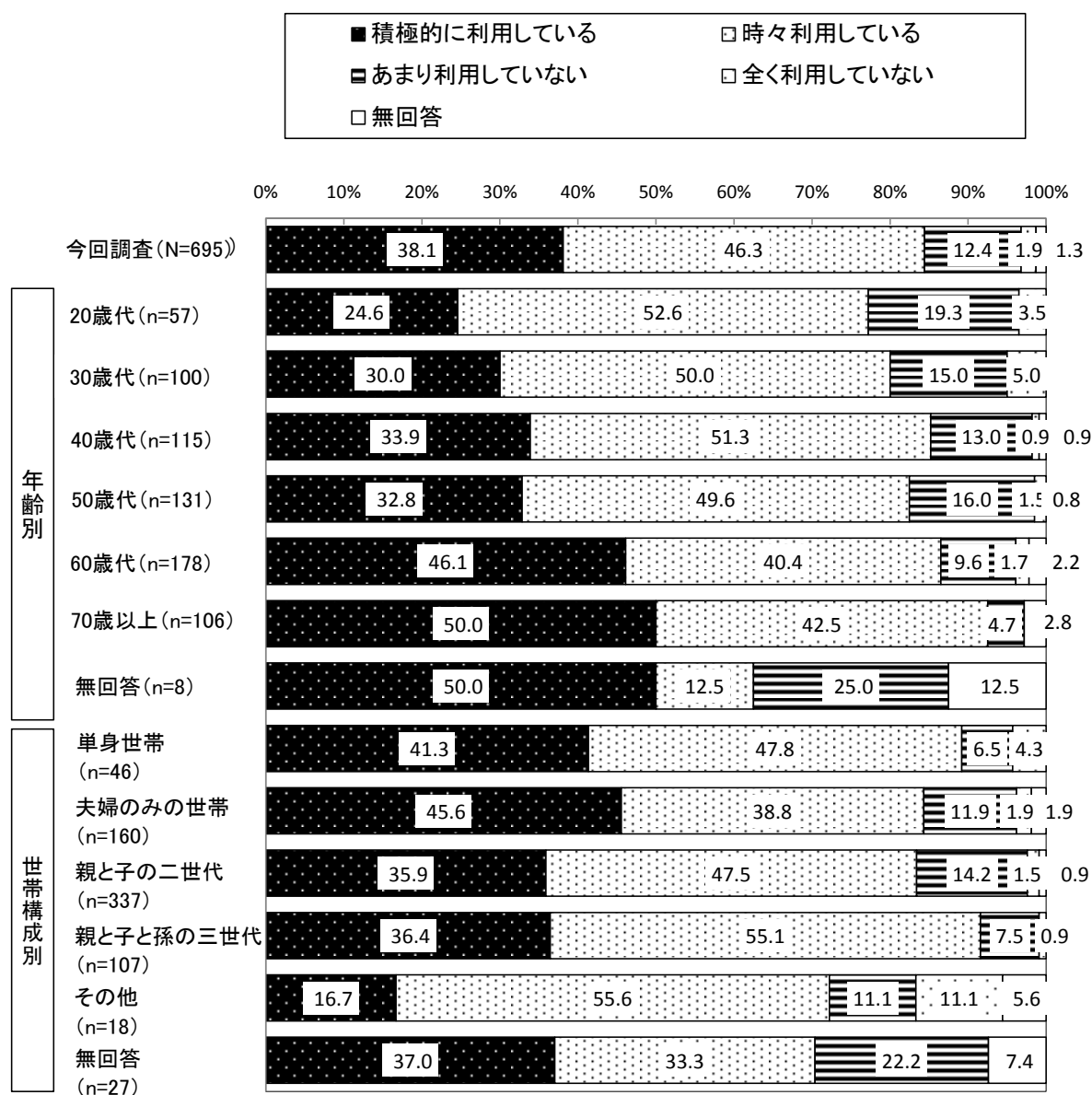
【図表1-7 「地元の農産物」の利用（過去調査との比較）】



年齢別にみると、「利用している」の割合は概ね加齢とともに高まり、70歳以上では92.5%と大半を占めている。

世帯構成別にみると、「積極的に利用している」の割合は夫婦のみの世帯（45.6%）で最も高いが、「時々利用している」を合わせた「利用している」の割合は親と子と孫の三世代（91.5%）が最も高くなっている。

【図表1-8 「地元の農産物」の利用（年齢別・世帯構成別）】



(6) 農作業の経験

Q 4 あなたは、農作業体験教室や家庭菜園・市民農園などで、農作業を行ったことがありますか。どちらかお選びください。

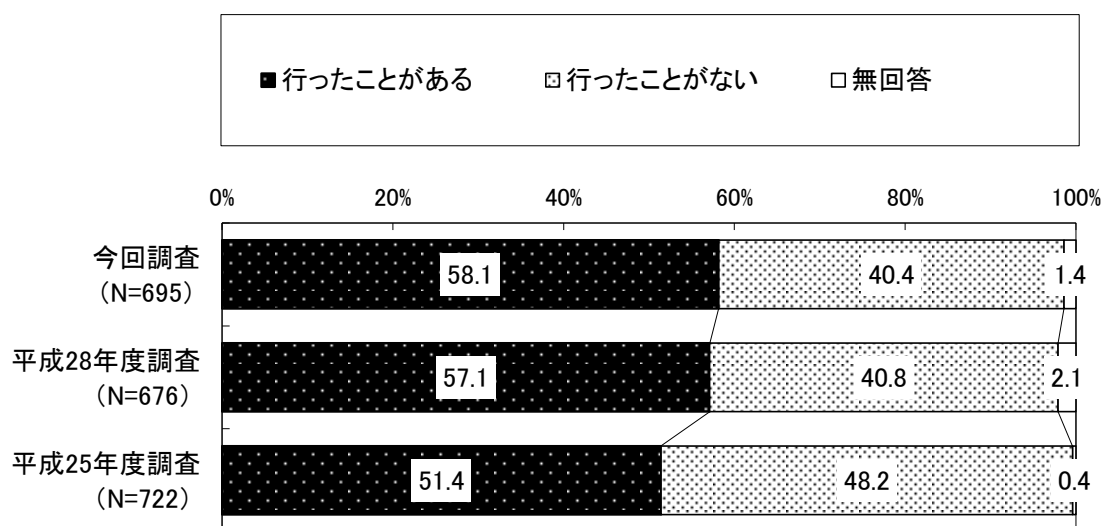
(例：田植え、稲刈り、野菜の植え付け、農作物の収穫など)

※農畜産業に従事している場合も含まれます。

農作業体験教室や家庭菜園・市民農園などでの農作業経験をみると、「行ったことがある」が58.1%、「行ったことがない」が40.4%となっており農作業経験者は過半数を占める。

過去の調査と比較すると、今回調査の「行ったことがある」は、最も高い割合となっており、増加傾向がみられる。

【図表 1-9 農作業の経験（過去調査との比較）】



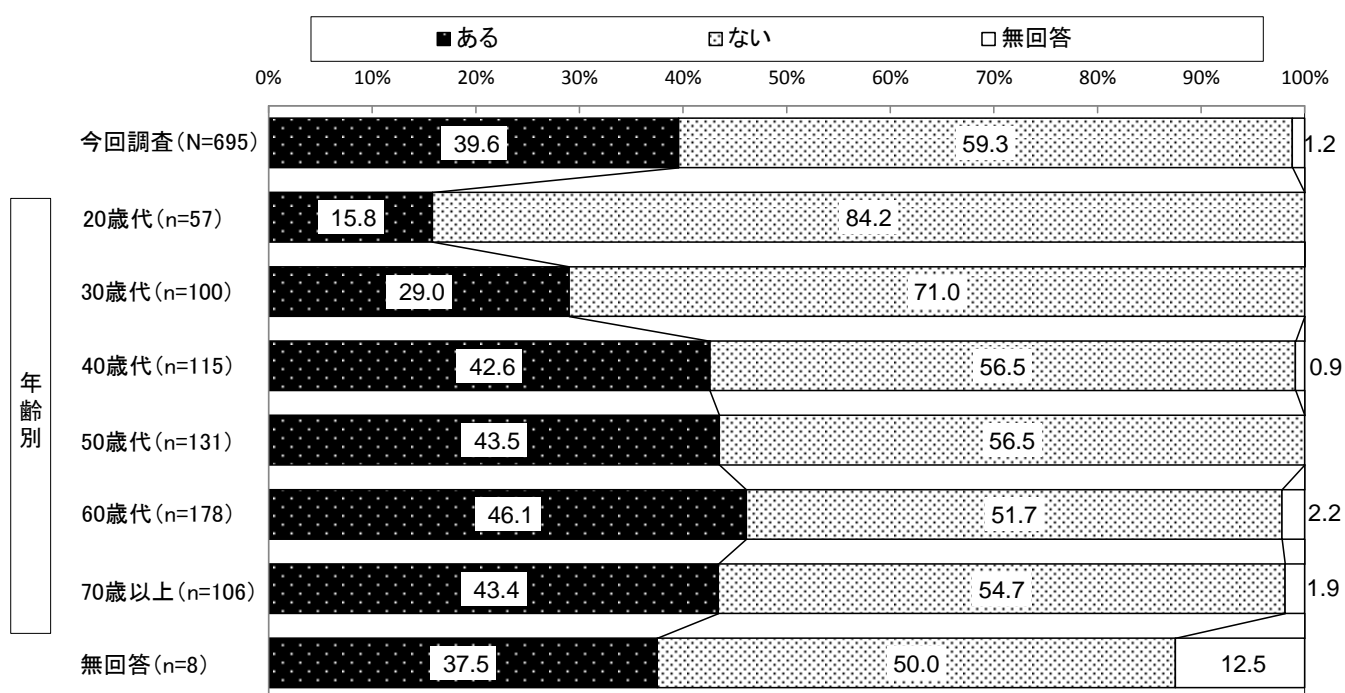
(7) 食に関する学習経験

Q5 あなたは、料理教室への参加、食に関する講座・講演会への参加など、食に関する学習をしたことがありますか。どちらかお選びください。

料理教室への参加、食に関する講座・講演会への参加など、食に関する学習経験をみると、「ある」が39.6%、「ない」が59.3%となっており食に関する学習をしたことがない人の方が多くなっている。

年齢別にみると、「ある」の割合は40歳代以上で4割を占めるのに対し、20歳代や30歳代では「ない」の割合が7~8割程度を占め、食に関する学習経験がない人が多い。

【図表1-10 食に関する学習経験（今回調査）】



2. 日頃の食生活について

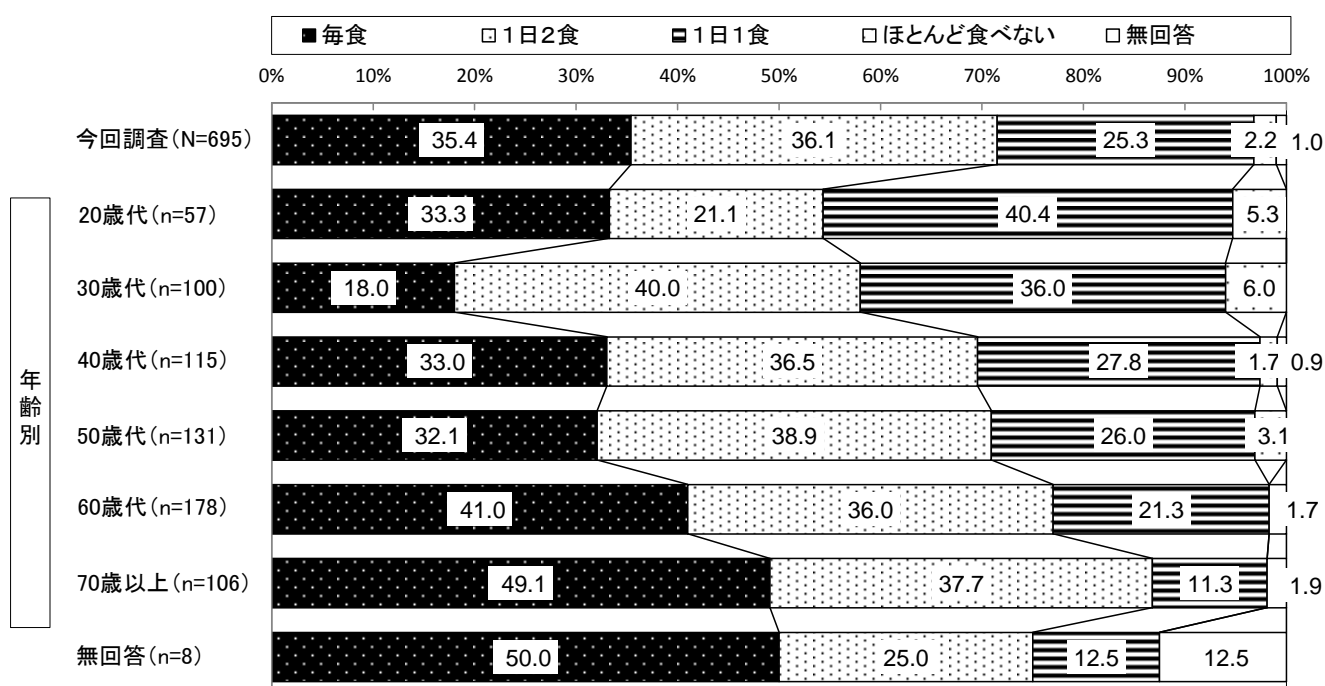
(1) 野菜のおかずを食べる頻度

Q 6 野菜のおかずを1日に何食食べていますか。この中から1つお選びください。

野菜のおかずを食べる頻度をみると、「1日2食」が36.1%で最も多く、次いで「毎食」が35.4%、「1日1食」が25.3%、「ほとんど食べない」が2.2%と続いている。

年齢別にみると、60歳代や70歳以上では「毎食」の割合が最も高いのに対し、年齢が下がるとともに「1日1食」や「ほとんど食べない」とする人の割合が高まる傾向にある。

【図表2-1 野菜のおかずを食べる頻度（今回調査）】



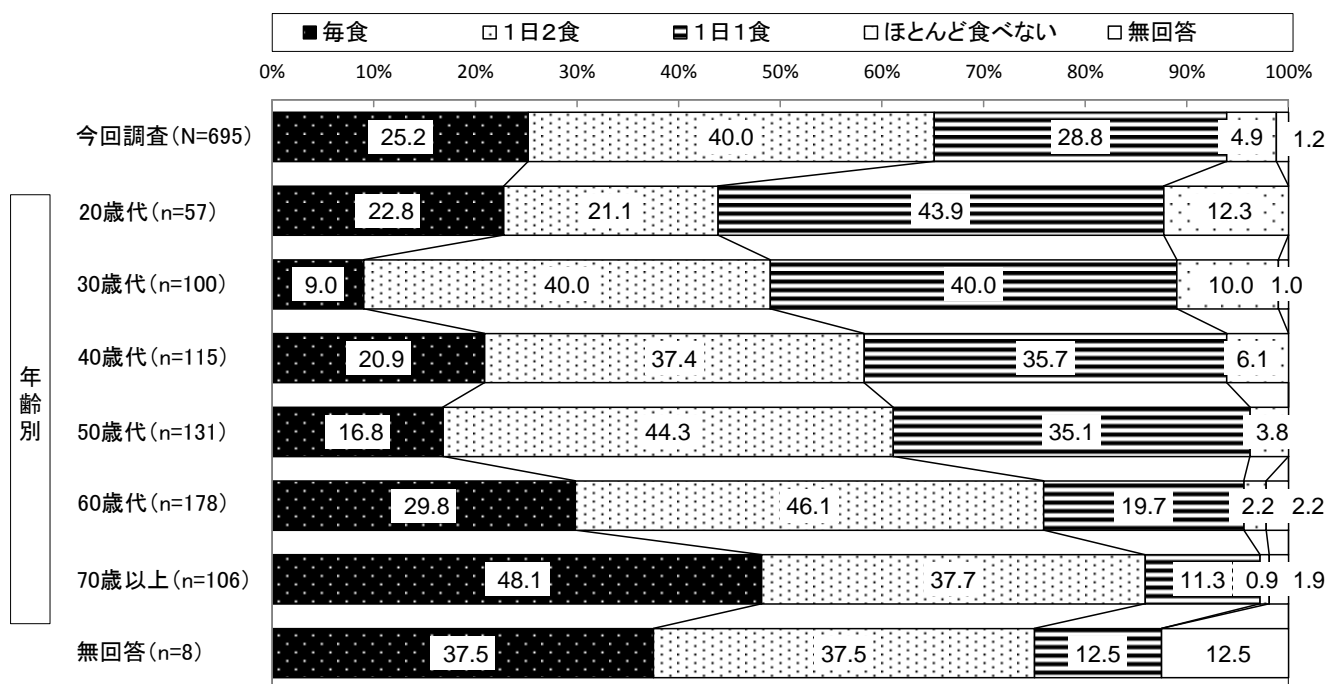
(2) 「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を食べる頻度

Q7 「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を1日に何食とっていますか。この中から1つお選びください。
 ※主食とは「ごはん、パン、めんなど」、主菜とは「肉、魚、卵、大豆製品などを使ったメインの料理」、副菜とは「野菜、きのこ、いも、海藻などを使った小鉢・小皿の料理」のことを言います。

「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を食べる頻度をみると、「1日2食」が40.0%で最も多く、次いで「1日1食」が28.8%、「毎食」が25.2%、「ほとんど食べない」が4.9%と続いている。

年齢別にみると、70歳以上では「毎食」の割合が最も高いのに対し、年齢が下がるとともに「1日1食」や「ほとんど食べない」とする人の割合が高まる傾向にある。なかでも、20歳代や30歳代では「1日1食」や「ほとんど食べない」の割合が他の年代に比べて高く、これらが半数を占めている。

【図表2-2 「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を食べる頻度（今回調査）】



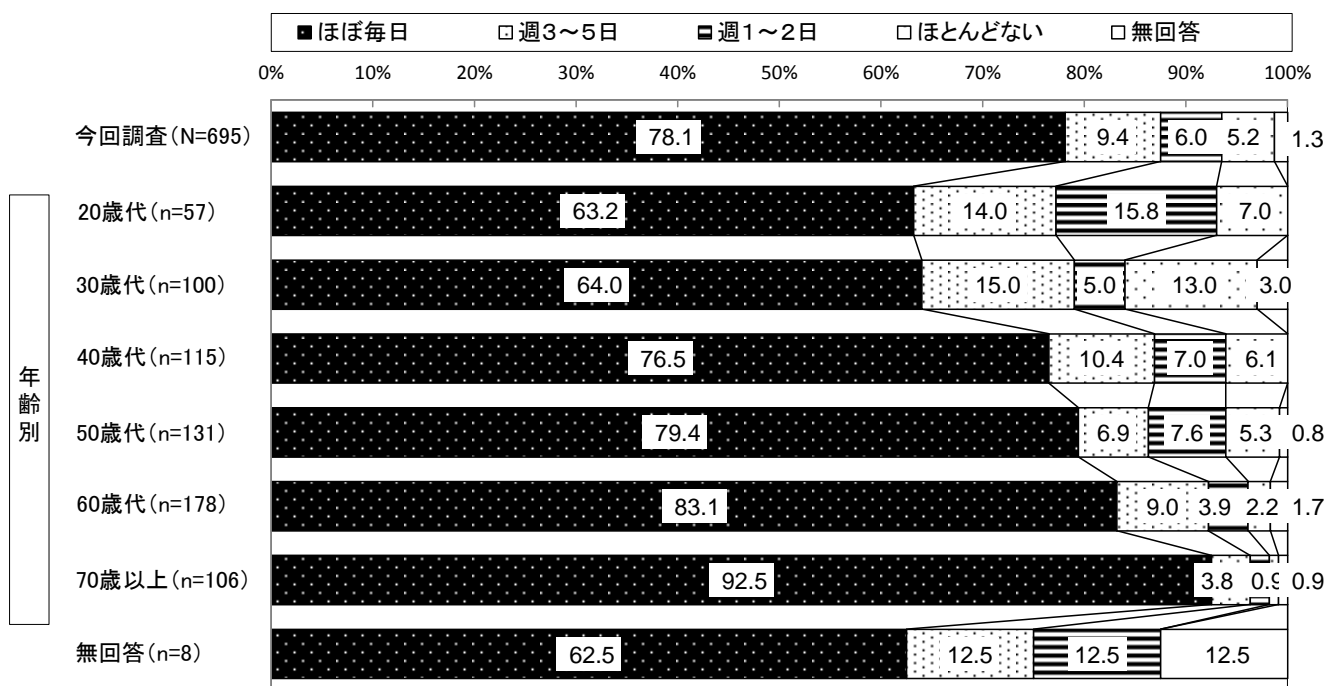
(3) 3食を食べる頻度

Q8 朝・昼・夕の3食を食べるのは週に何日ですか。この中から1つお選びください。

朝・昼・夕の3食を食べる頻度をみると、「ほぼ毎日」が78.1%で最も多く、次いで「週3～5日」が9.4%、「週1～2日」が6.0%、「ほとんどない」が5.2%と続いている。

年齢別にみると、「ほぼ毎日」の割合は加齢とともに高くなり、70歳以上で9割を占めている。一方、20歳代や30歳代では「週1～2日」や「ほとんどない」の割合が他の年代に比べて高い傾向にある。

【図表2-3 3食を食べる頻度（今回調査）】

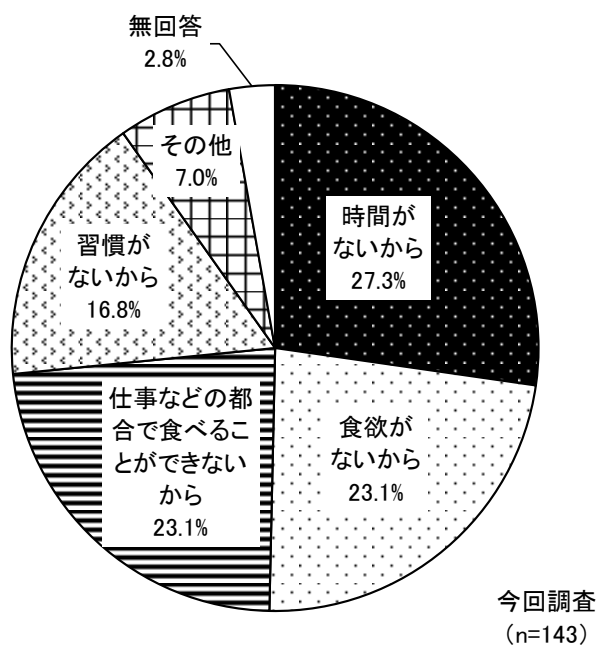


(4) 3食を食べない理由

Q 8-1 朝・昼・夕の3食を食べない理由は何ですか。この中から1つお選びください。

朝・昼・夕の3食を食べない理由をみると、「時間がないから」が27.3%で最も多く、次いで「食欲がないから」、「仕事などの都合で食べるできないから」がともに23.1%、「習慣がないから」が16.8%と続いている。

【図表2-4 3食を食べない理由（今回調査）】



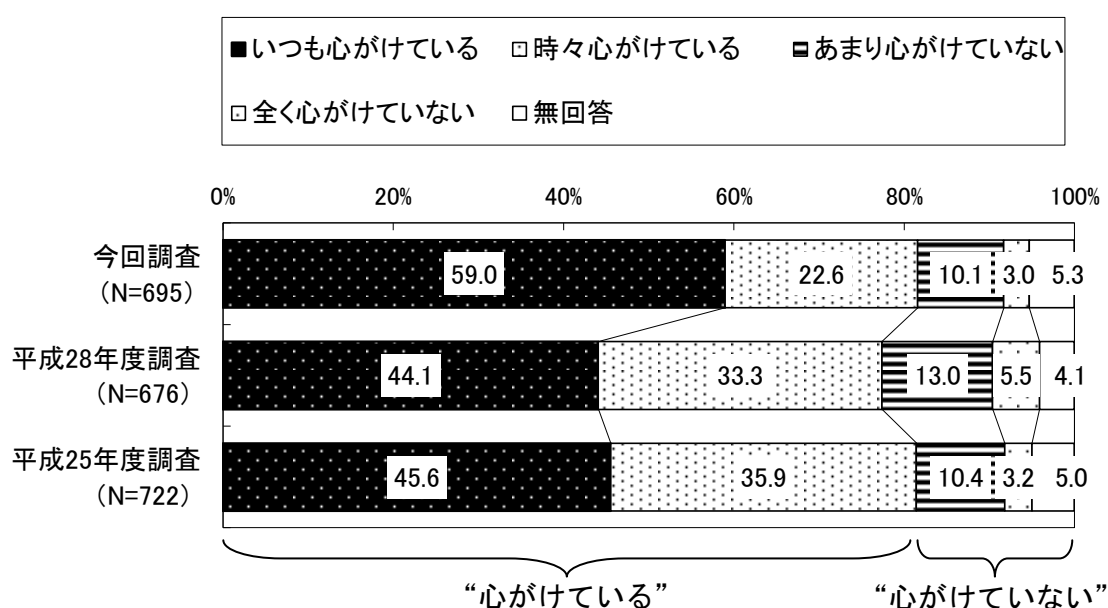
(5) 家族そろった食事の心がけ

Q9 家族そろっての食事を心がけていますか。この中から1つお選びください。

家族そろった食事の心がけをみると、「いつも心がけている」が59.0%、「時々心がけている」が22.6%でこれらを合わせた“心がけている”は81.6%となっている。

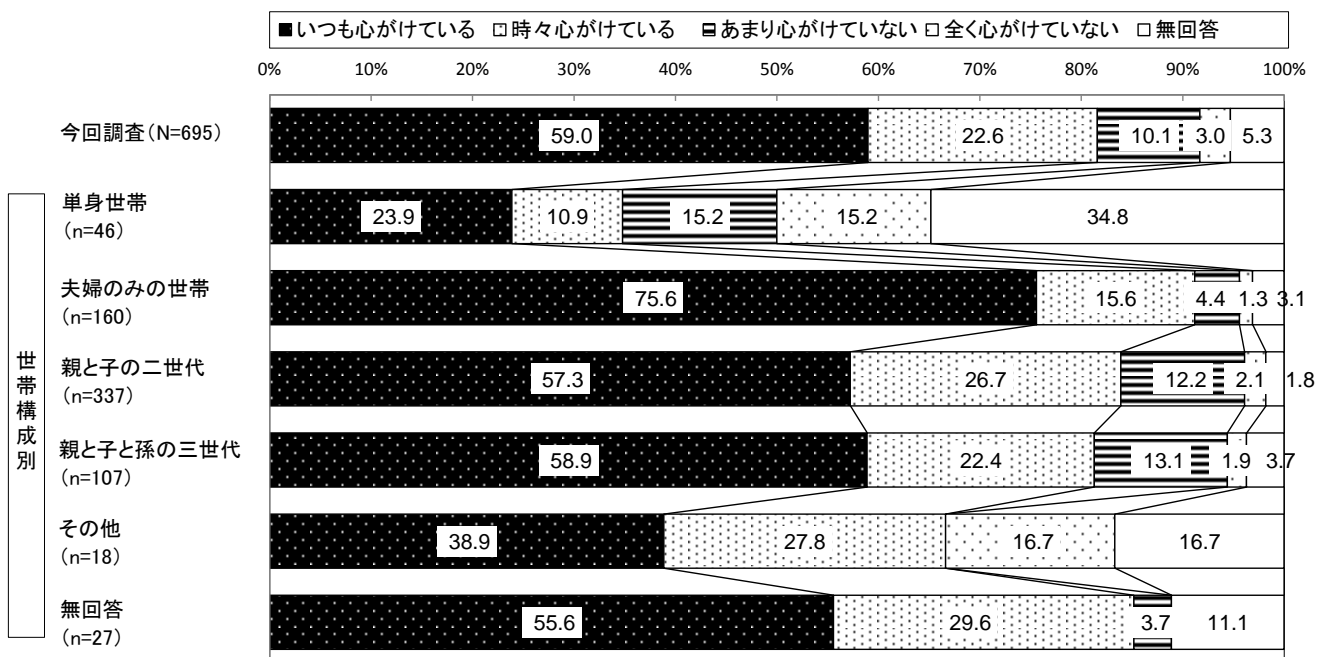
過去の調査と比較すると、“心がけている”の割合に大きな変化はみられないが(平成28年度調査:77.4%、平成25年度調査:81.5%)、「いつも心がけている」の割合が今回調査で大きく増加している。

【図表2-5 家族そろった食事の心がけ(過去調査との比較)】



世帯構成別にみると、「いつも心がけている」の割合は夫婦のみの世帯（75.6%）で最も高くなっている。なお、単身世帯については該当しない人も多いため、「全く心がけていない」及び「無回答」が多くなっていると考えられる。

【図表 2-6 家族そろった食事の心がけ（世帯構成別）】



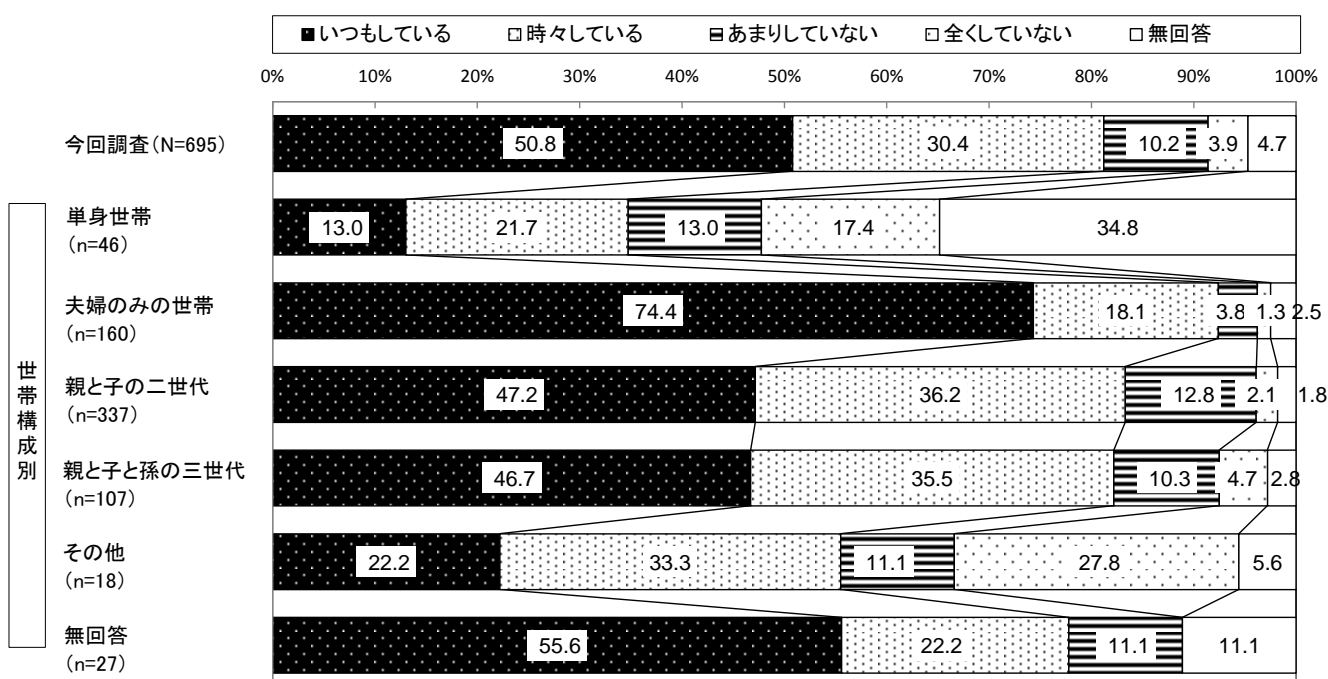
(6) 家族そろった食事

Q10 家族そろって食事をしていますか。この中から1つお選びください。

家族そろった食事についてみると、「いつもしている」が50.8%で最も多く、次いで「時々している」が30.4%、「あまりしていない」が10.2%、「全くしていない」が3.9%と続いている。

世帯構成別にみると、「いつもしている」の割合は夫婦のみの世帯（74.4%）で最も高くなっている。なお、単身世帯については該当しない人も多いため、「全くしていない」及び「無回答」が多くなっていると考えられる。

【図表2-7 家族そろった食事（今回調査）】



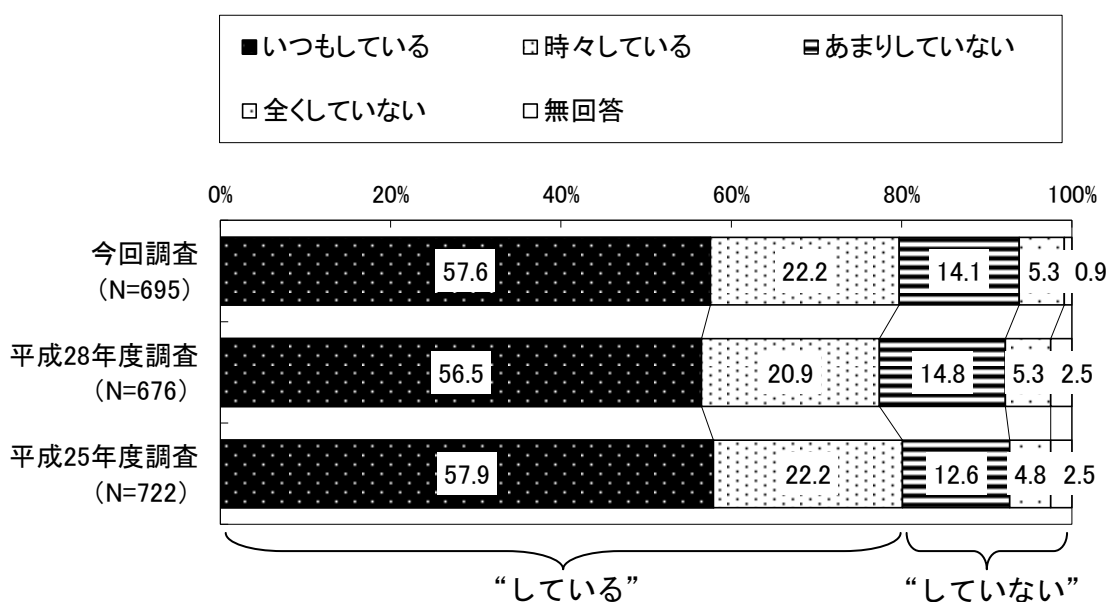
(7) 食事の際のあいさつ

Q11 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。この中から1つお選びください。

食事の際のあいさつをみると、「いつもしている」が57.6%、「時々している」が22.2%でこれらを合わせた“している”は79.8%となっている。

過去の調査と比較すると、食事の際のあいさつを“している”の割合は概ね同様の傾向を示している（平成28年度調査：77.4%、平成25年度調査：80.1%）。

【図表2-8 食事の際のあいさつ（過去調査との比較）】



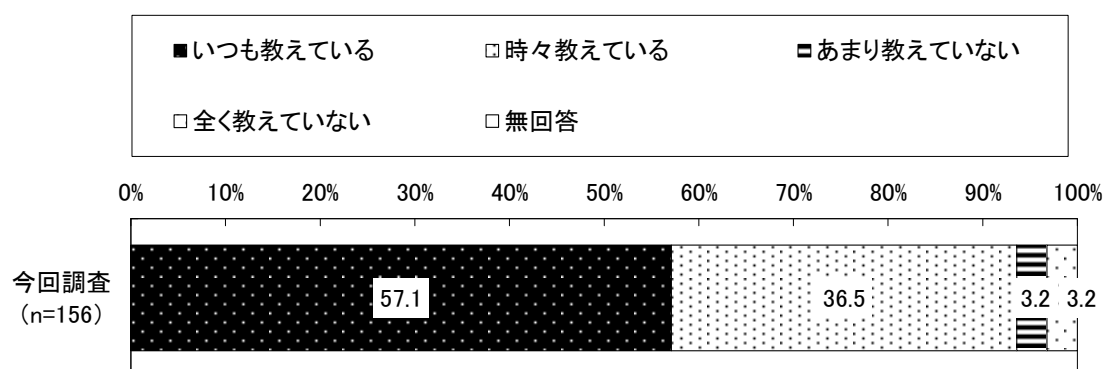
(8) 子供に基本的な食事のマナーを教えているか

Q12 (小学生以下の子どもがいる保護者のみお答えください)

お子様に、お箸やお茶碗の持ち方、食べ方などの基本的な食事のマナーを教えていますか。この中から1つお選びください。

子供に基本的な食事のマナーを教えているかをみると、「いつも教えている」が57.1%で最も多く、次いで「時々教えている」が36.5%、「あまり教えていない」、「全く教えていない」が3.2%と続いている。

【図表2-9 子供に基本的な食事のマナーを教えているか（今回調査）】

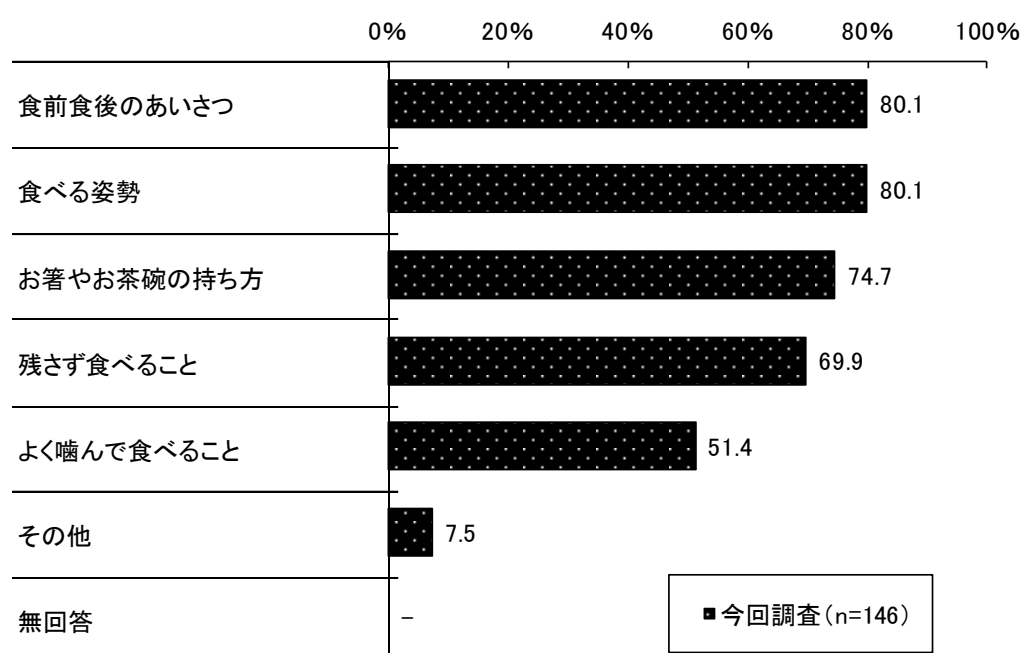


(9) 子供に教えている食事のマナー

Q12-1 どんな食事のマナーを教えてください。当てはまるものを全てお選びください。

子供に食事のマナーを教えていると回答した人の内容をみると、「食前食後のあいさつ」、「食べる姿勢」がともに80.1%で最も多く、次いで「お箸やお茶碗の持ち方」が74.7%、「残さず食べること」が69.9%、「よく噛んで食べること」が51.4%と続いている。

【図表2-10 子供に教えている食事のマナー（今回調査）】



3. 食の安全性について

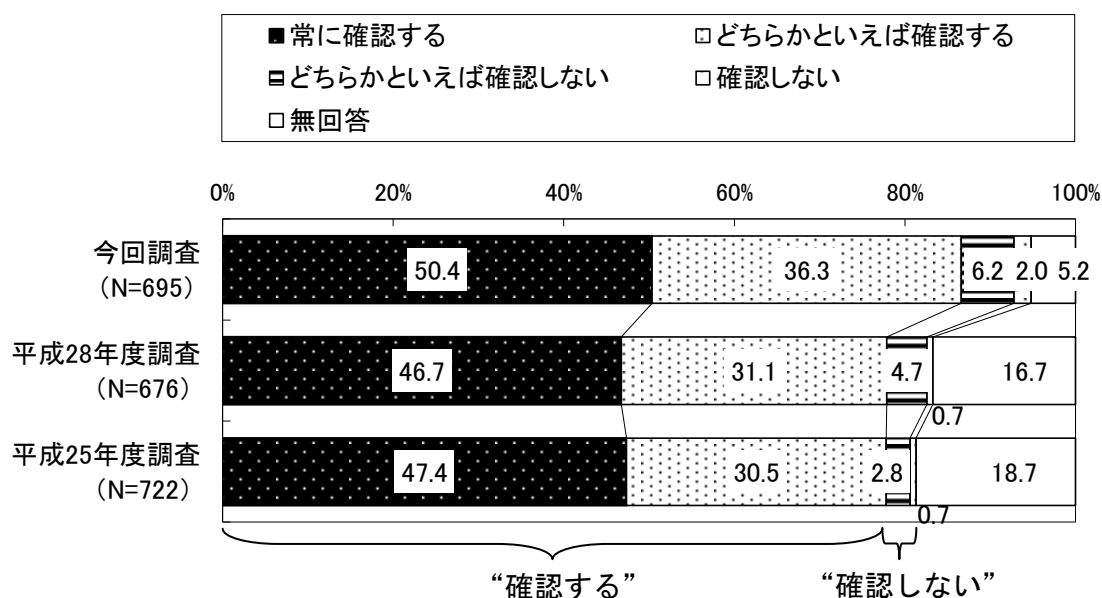
(1) 食品購入時の表示確認

Q13 あなたは食品購入時に表示（賞味期限・食品添加物等）などの確認をしますか。この中から1つお選びください。

食品購入時における表示の確認状況をみると、「常に確認する」が50.4%、「どちらかといえば確認する」が36.3%でこれらを合わせた“確認する”は86.7%となっている。

過去の調査と比較すると、“確認する”と回答した割合が最も高くなっている（平成28年度調査：77.8%、平成25年度調査：77.9%）。

【図表3-1 食品購入時の表示確認（過去調査との比較）】



4. 地産地消について

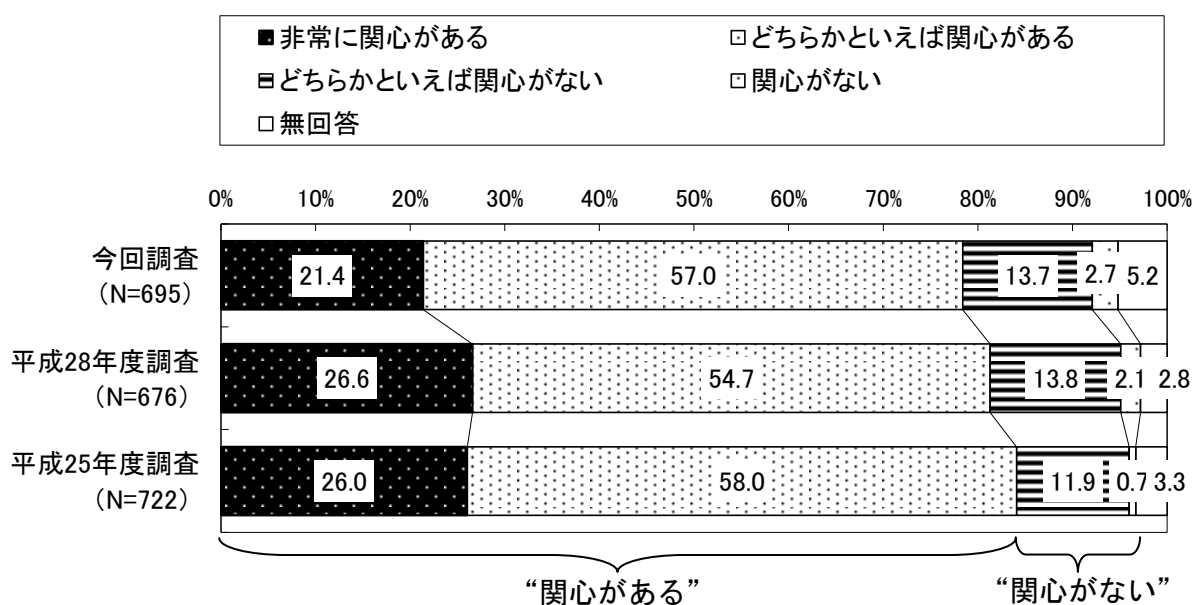
(1) 「地産地消」についての関心

Q14 あなたは「地産地消」について関心がありますか。この中から1つお選びください。

「地産地消」についての関心度をみると、「非常に関心がある」が21.4%、「どちらかといえば関心がある」が57.0%でこれらを合わせた“関心がある”は78.4%となっている。

過去の調査と比較すると、“関心がある”の割合が最も低く、地産地消についての関心度に減少傾向がみられる(平成28年度調査:81.3%、平成25年度調査:84.0%)。

【図表4-1 「地産地消」についての関心(過去調査との比較)】



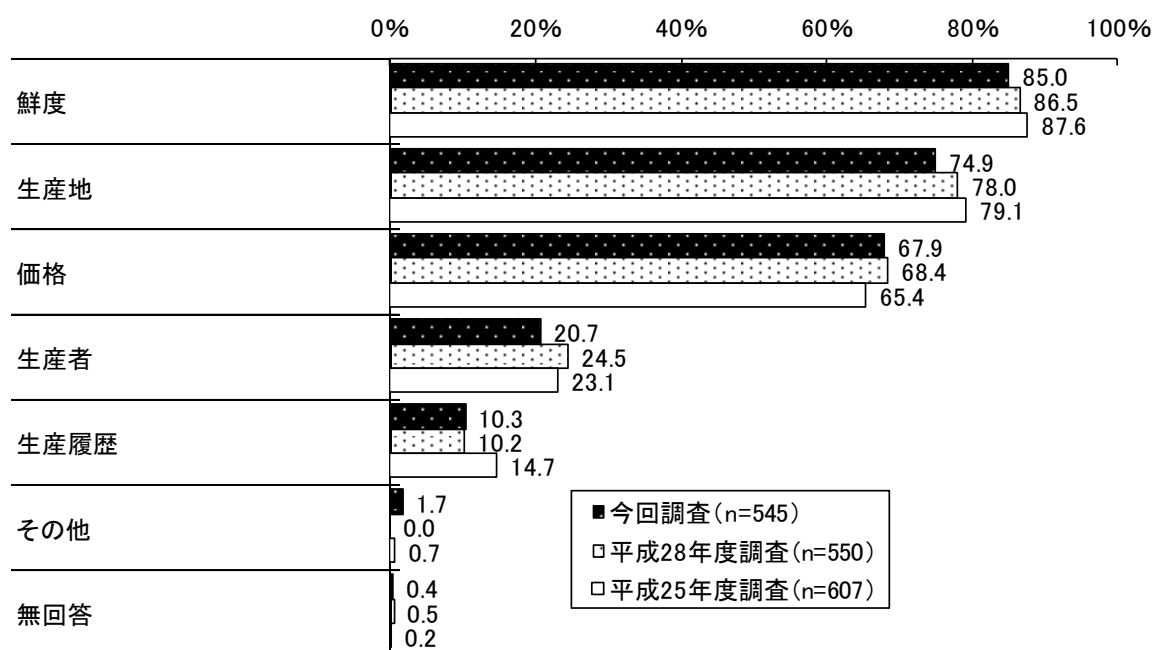
(2) 「地産地消」についての関心の内容

Q14-1 あなたは「地産地消」について、具体的にどういう事に関心がありますか。
この中から当てはまるもの全てお選びください。

「地産地消」について関心があると回答した人の内容をみると、「鮮度」が85.0%で最も多く、次いで「生産地」が74.9%、「価格」が67.9%が続いている。

過去の調査と比較すると、割合に大きな違いはなく概ね同様の傾向を示している。

【図表4-2 「地産地消」についての関心の内容（過去調査との比較）】

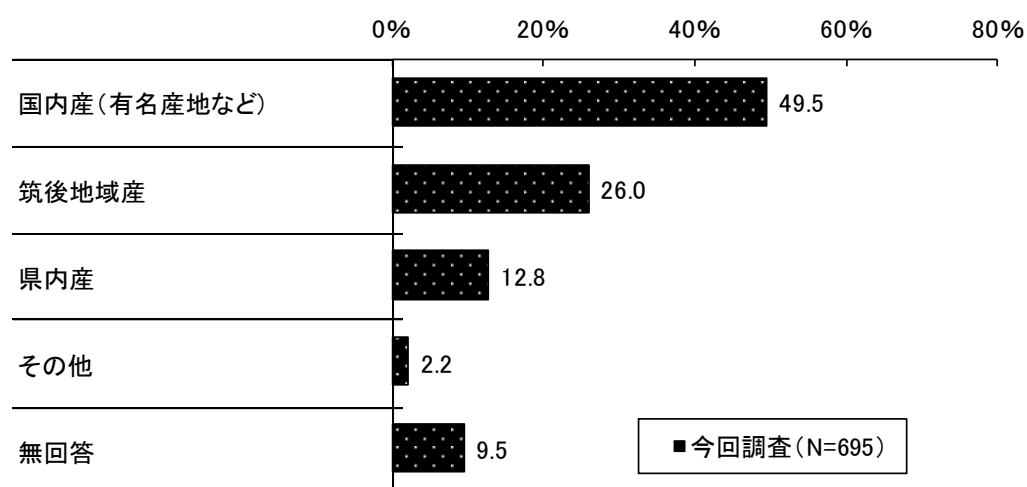


(3) 農畜産物の生産地について優先するもの

Q15 あなたはどこの農畜産物を優先的に使用していますか。この中から1つお選びください。

農畜産物の生産地について優先するものをみると、「国内産（有名産地など）」が49.5%で最も多く、次いで「筑後地域産」が26.0%、「県内産」が12.8%が続いている。

【図表4-3 農畜産物の生産地について優先するもの（今回調査）】



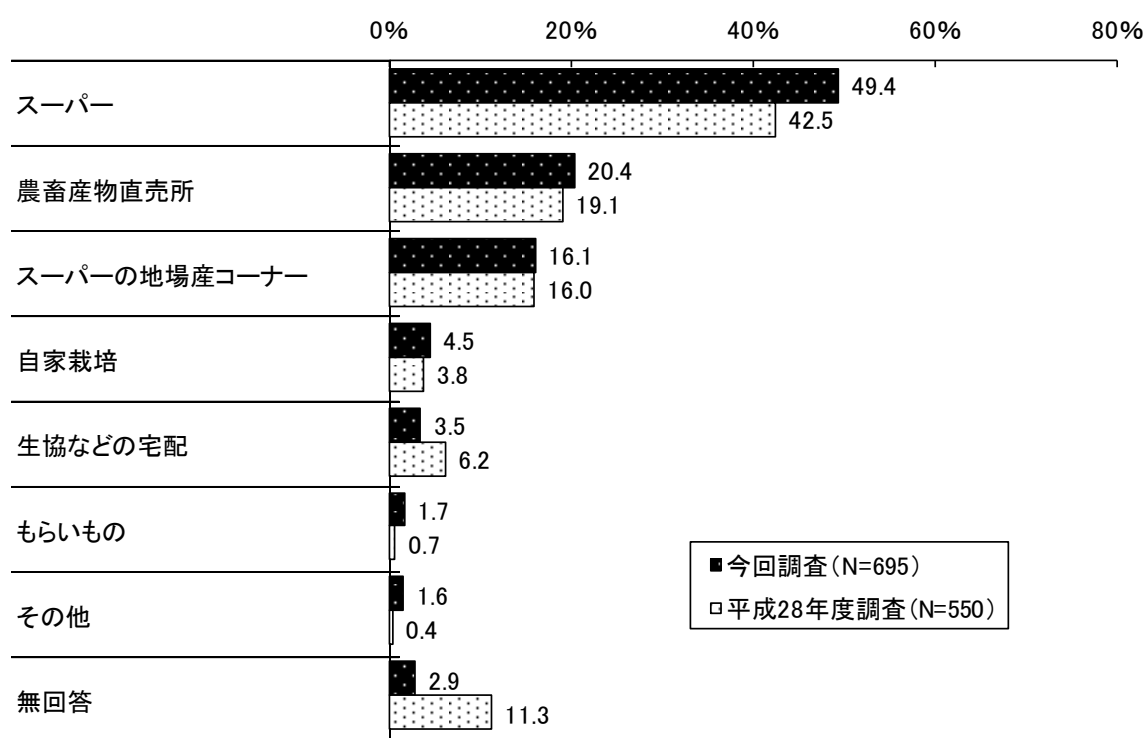
(4) 農畜産物を購入する場所で多いところ

Q16 あなたが農畜産物を購入する場所で多いところはどこですか。この中から1つお選びください。

農畜産物を購入する場所で多いところをみると、「スーパー」が49.4%で最も多く、次いで「農産物直売所」が20.4%、「スーパーの地場産コーナー」が16.1%と続いている。

過去の調査と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「スーパー」で購入する人が増加傾向にある。

【図表4-4 農畜産物を購入する場所で多いところ（過去調査との比較）】



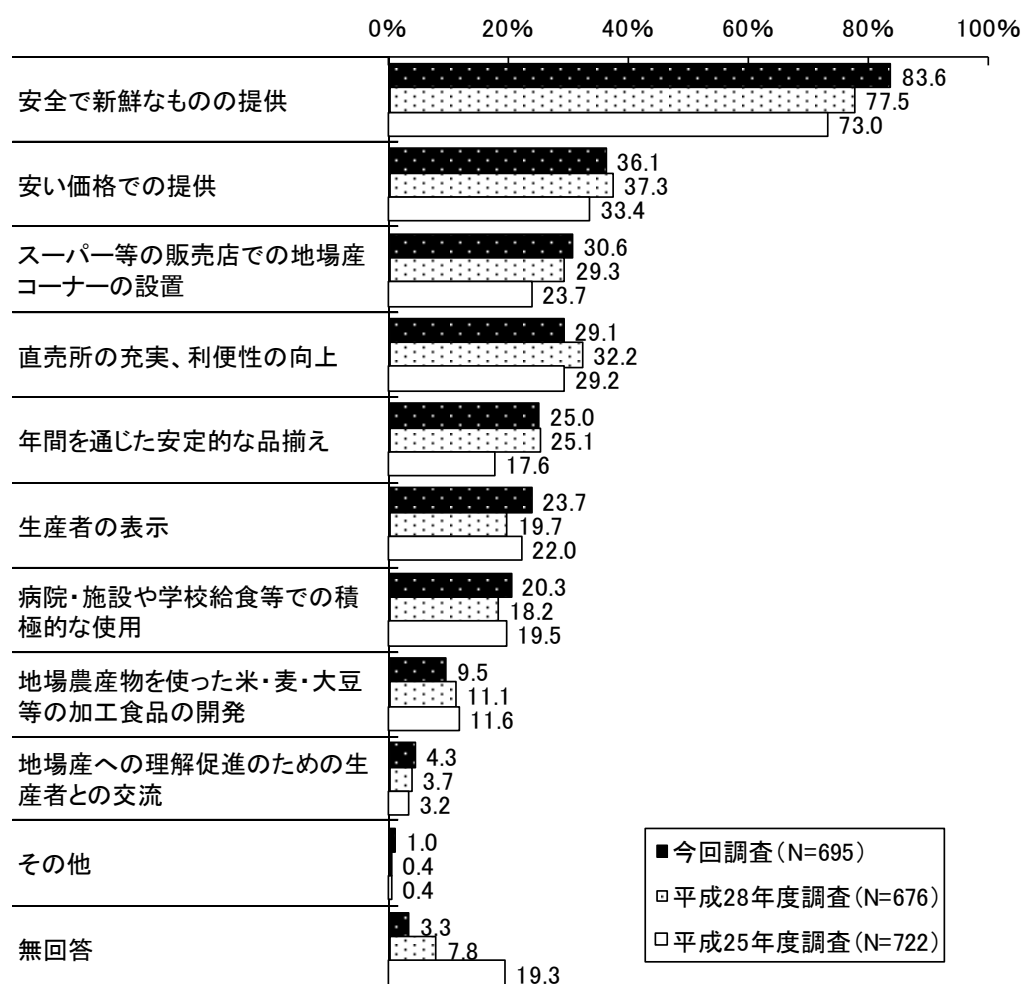
(5) 「地産地消」を推進する上で必要だと思うこと

Q17 あなたが「地産地消」を推進する上で必要だと思うことはありますか。この中から3つまでお選びください。

「地産地消」を推進する上で必要だと思うことをみると、「安全で新鮮なものの提供」が83.6%で最も多く、次いで「安い価格での提供」が36.1%、「スーパー等の販売店での地場産コーナーの設置」が30.6%と続いている。

過去の調査と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、「安全で新鮮なものの提供」、「スーパー等の販売店での地場産コーナーの設置」に増加傾向がみられる。

【図表4-5 「地産地消」を推進する上で必要だと思うこと（過去調査との比較）】



5. 食育情報について

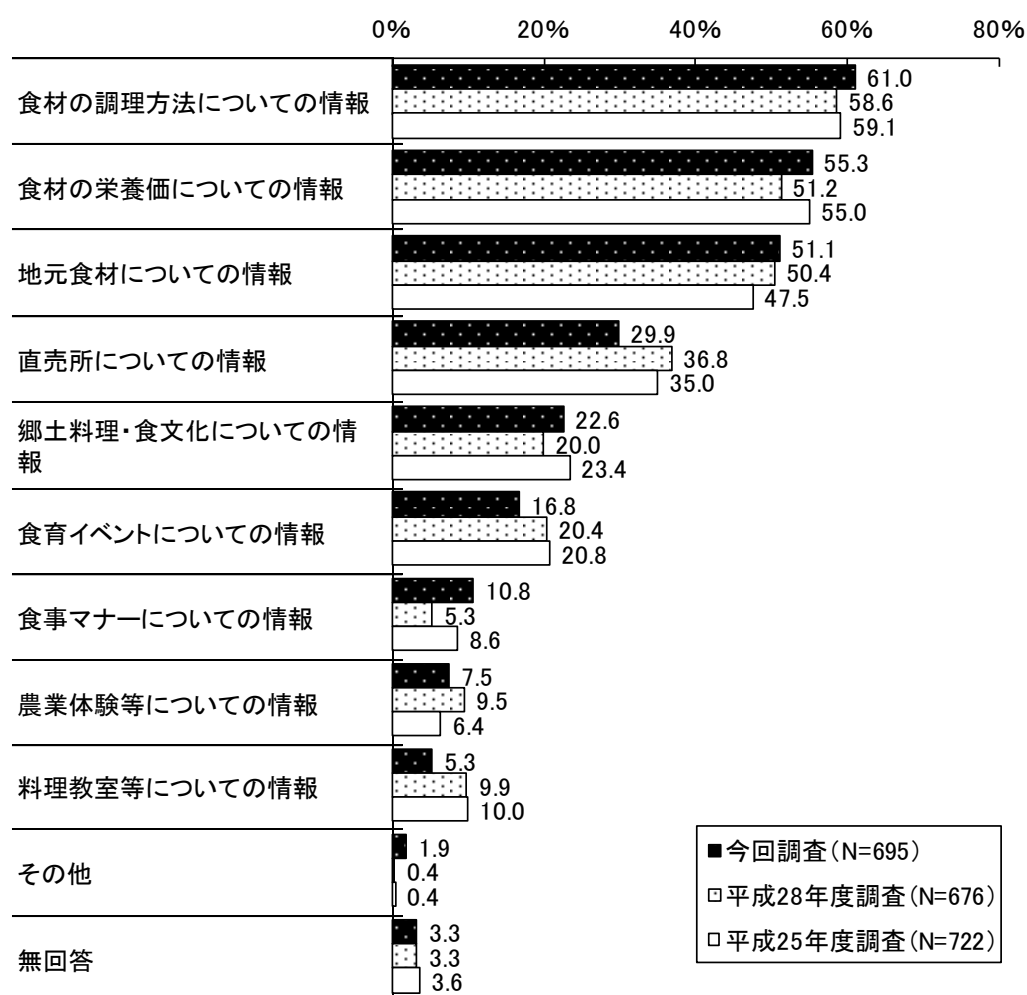
(1) 「食育」を実践する上で必要な情報

Q18 あなたは「食育」を実践する上で、どのような情報が必要だと思いますか。
この中から3つまでお選びください。

「食育」を実践する上で必要な情報をみると、「食材の調理方法についての情報」が61.0%で最も多く、次いで「食材の栄養価についての情報」が55.3%、「地元食材についての情報」が51.1%で続いている。

過去の調査と比較すると、割合に大きな違いはなく概ね同様の傾向を示している。

【図表5-1 「食育」を実践する上で必要な情報（過去調査との比較）】



IV. 調査票

2017

筑後市 食育に関するアンケート

【 アンケートご協力のお願い 】

国では、国民が健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむため、「食育」に関する施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とした食育基本法が平成17年にスタートしました。

この法律は、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加等に代表されるような、食生活をめぐる環境の変化に伴い、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための「食育」を推進することが緊要な課題となっていることに対応して制定されたものです。

本市におきましては、この法律に基づき、平成19年3月に「ちっごの生命をつなぐ食育条例」を制定し、食を通じて健康でいきいきとした市民生活を実現させようと、これまで「食育」の推進に取り組んできたところです。

今年度、「第3期ちっごの生命をつなぐ食育推進計画」（平成30年度からの5カ年計画）を策定することとしており、第2期の食育推進計画の進捗状況の把握と第3期計画策定の参考とするために、この食育アンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いします。

なお、アンケートの結果につきましては、集計後、市のホームページに掲載いたします。

平成29年9月

筑後市長 中村 征一

【 ご記入にあたってのお願い 】

1. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びください。
2. 選択肢の、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて**9月18日（月）までに**ポストにお入れください。
4. ご回答いただく上でご不明な点、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

筑後市健康づくり課

電話:0942-53-4231

FAX:0942-53-4119

「食育」について

「食育」とは、国の定める「食育基本法」の中では、次のように説明しています。

- (1) 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- (2) 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

Q 1 あなたは「食育」について関心がありますか。この中から1つお選びください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 関心がある…………… | } Q1-1へ進んでください |
| 2. どちらかといえば関心がある…………… | |
| 3. どちらかといえば関心がない…………… | } Q1-2へ進んでください |
| 4. 関心がない…………… | |

Q 1-1 あなたが「食育」に関心がある理由はなんですか。この中から3つまでお選びください。

1. 子どもの心身の健全な発育のために必要だから
2. 食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから
3. 肥満ややせすぎが問題になっているから
4. 生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから
5. 食品表示、残留農薬問題など、食品の安全確保が重要だから
6. 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから
7. 食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから
8. 消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから
9. 有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから
10. 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから
11. 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから
12. その他（ ）

Q 1-2 あなたが「食育」に関心がない理由はなんですか。この中から3つまでお選びください。

1. 自分や家族の食事や食生活に関心がないから
2. 食事や食生活へは関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから
3. 食事や食生活へは関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから
4. 食品の安全性などに関心がないから
5. 食事や食生活を特に意識しなくても、健康に自信があるから
6. 食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことはないから
7. 産地や製造過程など気にしたことはないから
8. その他（ ）

Q 2 あなたは日頃から健康の保持・増進を図るために「食生活・食習慣の改善」を行っていますか。この中から1つお選びください。

1. いつも行っている
2. 時々行っている
3. あまり行っていない
4. 全く行っていない

Q 3 あなたは日頃から、「地元の農産物」を利用していますか。この中から1つお選びください。

1. 積極的に利用している
2. 時々利用している
3. あまり利用していない
4. 全く利用していない

Q 4 あなたは、農作業体験教室や家庭菜園・市民農園などで、農作業を行ったことがありますか。どちらかお選びください。

(例：田植え、稲刈り、野菜の植え付け、農作物の収穫など)

※農畜産業に従事している場合も含みます。

1. 行ったことがある
2. 行ったことがない

Q 5 あなたは、料理教室への参加、食に関する講座・講演会への参加など、食に関する学習をしたことがありますか。どちらかお選びください。

1. ある
2. ない

日頃の食生活について

Q 6 野菜のおかずを1日に何食食べていますか。この中から1つお選びください。

1. 毎食
2. 1日2食
3. 1日1食
4. ほとんど食べない

Q7 「主食」「主菜」「副菜」がそろった食事を1日に何食とっていますか。この中から1つお選びください。

※主食とは「ごはん、パン、めんなど」、主菜とは「肉、魚、卵、大豆製品などを使ったメインの料理」、副菜とは「野菜、きのこ、いも、海藻などを使った小鉢・小皿の料理」のことを言います。

- 1. 毎食
- 2. 1日2食
- 3. 1日1食
- 4. ほとんどとらない

Q8 朝・昼・夕の3食を食べるのは週に何日ですか。この中から1つお選びください。

- 1. ほぼ毎日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Q9へ進んでください
- 2. 週3～5日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3. 週1～2日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Q8-1へ進んでください
- 4. ほとんどない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Q8-1 朝・昼・夕の3食を食べない理由は何ですか。この中から1つお選びください。

- 1. 時間がないから
- 2. 食欲がないから
- 3. 仕事などの都合で食べることができないから
- 4. 習慣がないから
- 5. その他（ ）

Q9 家族そろっての食事を心がけていますか。この中から1つお選びください。

- 1. いつも心がけている
- 2. 時々心がけている
- 3. あまり心がけていない
- 4. 全く心がけていない

Q10 家族そろって食事をしていますか。この中から1つお選びください。

- 1. いつもしている
- 2. 時々している
- 3. あまりしていない
- 4. 全くしていない

Q11 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。この中から1つお選びください。

- 1. いつもしている
- 2. 時々している
- 3. あまりしていない
- 4. 全くしていない

Q12 (小学生以下の子どもがいる保護者のみお答えください)
お子様に、お箸やお茶碗の持ち方、食べ方などの基本的な食事のマナーを教えていますか。この中から1つお選びください。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. いつも教えている・・・・・・・・・・・・・・・・ | } Q12-1へ進んでください |
| 2. 時々教えている・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| 3. あまり教えていない・・・・・・・・・・・・・・・・ | } Q13へ進んでください |
| 4. 全く教えていない・・・・・・・・・・・・・・・・ | |

Q12-1 どんな食事のマナーを教えていますか。当てはまるものを全てお選びください。

- 1. 食前食後のあいさつ
- 2. お箸やお茶碗の持ち方
- 3. 食べる姿勢
- 4. よく噛んで食べること
- 5. 残さず食べること
- 6. その他 ()

食の安全性について

Q13 あなたは食品購入時に表示（賞味期限・食品添加物等）などの確認をしますか。この中から1つお選びください。

- 1. 常に確認する
- 2. どちらかといえば確認する
- 3. どちらかといえば確認しない
- 4. 確認しない

地産地消について

「地産地消」とは、地域生産・地域消費の略語で、消費者にとっては地元地域で作られたものを消費し、生産者にとっては消費者の近くで作る、という意味です。

地元の産物を旬の時においしく食べられるということだけではなく、地域の農林水産業はその地域の環境によって育てられたものであり、健全な農林水産業は健康な環境を保全するという意味も持ちます。

Q14 あなたは「地産地消」について関心がありますか。この中から1つお選びください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 非常に関心がある・・・・・・・・・・ | } Q14-1へ進んでください |
| 2. どちらかといえば関心がある..... | |
| 3. どちらかといえば関心がない..... | } Q15へ進んでください |
| 4. 関心がない・・・・・・・・・・ | |

Q14-1 あなたは「地産地消」について、具体的にどういう事に関心がありますか。この中から当てはまるもの全てお選びください。

1. 生産地
2. 生産者
3. 生産履歴（注）
4. 鮮度
5. 価格
6. その他（ ）

（注）農産物を生産するにあたり、育苗から栽培、収穫、収穫後の加工などそれぞれの工程で行った作業を履歴として記録し、消費者や納品先の求めに応じて提出できるように作業記録や栽培日誌としてほ場毎もしくは、生産ロット毎にまとめた履歴

Q15 あなたはどこの農畜産物を優先的に使用していますか。この中から1つお選びください。

1. 国内産（有名産地など）
2. 県内産
3. 筑後地域産（筑後市、八女市、広川町、大木町、柳川市、大川市、みやま市）
4. その他（ ）

Q16 あなたが農畜産物を購入する場所で多いところはどこですか。この中から1つお選びください。

1. 農畜産物直売所
2. スーパー
3. スーパーの地場産コーナー
4. 生協などの宅配
5. もらいもの
6. 自家栽培
7. その他 ()

Q17 あなたが「地産地消」を推進する上で必要だと思うことはありますか。この中から3つまでお選びください。

1. 生産者の表示
2. 安い価格での提供
3. 安全で新鮮なものの提供
4. 年間を通じた安定的な品揃え
5. 病院・施設や学校給食等での積極的な使用
6. スーパー等の販売店での地場産コーナーの設置
7. 直売所の充実、利便性の向上
8. 地場産への理解促進のための生産者との交流
9. 地場農産物を使った米・麦・大豆等の加工食品の開発
10. その他 ()

食育情報について

Q18 あなたは「食育」を実践する上で、どのような情報が必要だと思いますか。この中から3つまでお選びください。

1. 食材の栄養価についての情報
2. 食材の調理方法についての情報
3. 地元食材についての情報
4. 料理教室等についての情報
5. 農業体験等についての情報
6. 食育イベントについての情報
7. 直売所についての情報
8. 郷土料理・食文化についての情報
9. 食事マナーについての情報
10. その他 ()

最後に、あなたご自身についておたずねします

F1 性別	1. 男性	2. 女性	
F2 年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上
F3 居住地区	1. 筑後校区	2. 羽犬塚校区	3. 筑後北校区
	4. 松原校区	5. 古川校区	6. 水田校区
	7. 水洗校区	8. 下妻校区	9. 古島校区
	10. 二川校区	11. 西牟田校区	
F4 世帯構成	1. 単身世帯	2. 夫婦のみの世帯	3. 親と子の二世帯
	4. 親と子と孫の三世帯	5. その他()	

最後に「食育」に関する事で、行政などへの要望、提案事項などがありましたら、どんなことでも結構ですので、お書きください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

～ご協力ありがとうございました～

○ご回答後は同封の返信用封筒に入れ(切手不要)、**9月18日(月)まで**にご投函くださいますようお願い致します。

○アンケート調査により収集した情報は、筑後市の今後の「食育」に関する施策の参考とさせていただきます。また、送付いただいたアンケート用紙は厳重に保管し、調査終了後に適切な方法で廃棄いたします。